

令和3年 第4回建設技術研究開発評価委員会 <議事要旨>

日 時：令和3年7月30日（金）13：00～14：00

場 所：Web 会議

出席者：岩波 光保、古関 潤一、佐田 達典、清水 康行、田中 哮義、本橋 健司、
野城 智也、山口 栄輝（五十音順、敬称省略）

議 事：

- ・総合技術開発プロジェクトについて
- ・ヒアリング審査「社会環境の変化に対応した住宅・建築物の性能評価技術の開発」

配付資料：

資料1 総合技術開発プロジェクトについて

資料2 社会環境の変化に対応した住宅・建築物の性能評価技術の開発

議事要旨：

令和4年度の新規要求課題候補（1件）について、事前評価を実施するため、外部有識者会議を開催した。委員の主な意見は下記の通り。

- 「社会環境の変化に対応した住宅・建築物の性能評価技術の開発」
 - ・住宅の性能評価については、技術開発の主体となる民間企業を巻き込むことが重要。目標とする性能を決定する段階から、民間企業の意見を取り入れて欲しい。
 - ・住宅性能表示制度だけでなく、共同住宅など建築分野全体の性能評価や防災など他分野にも貢献するような技術開発になると社会的な価値がより高くなる。
 - ・住宅性能表示制度の更新やガイドラインの作成は重要だが、開発後どの程度活用されるかも重要。より広く活用されるよう工夫して欲しい。
 - ・性能の高い住宅は金額が高くなりやすいことから、例えば住宅の性能が向上することによるコストダウン効果の紹介などを通して、消費者が性能の高い住宅を購入しやすい環境を整えることが必要。
 - ・売り手側だけでなく、消費者目線でも性能を評価すべきなので、消費者の意見を聞く機会を研究の初期段階からは是非設けて欲しい。
 - ・新築の住宅に対する性能評価について主に検討するとのことだが、既存住宅についての検討もあるとなお良い。